



一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は12月3日～6日に行いました。



水道料金引き上げは 最小限度に抑制すべき

宮内 博議員

問 本市は、水道料金引上げを計画し、13ミリ口径で20トン使用の場合、月額2629円の料金が、令和12年度には3999円となる。

答 令和5年度水道事業会計決算では、5億6600万円の純利益があり、鹿屋市の4・1倍となる。市民生活に欠かせない水道料金の引上げは、最小限に抑制すべきではないか。

問 豪雨災害対策のために、県管理水門も自動化を

答 豪雨災害時の水路放水門は、遠隔操作が可能な水門へと改修が行われている。天降川流域で排水ポンプが設置されている7か所の水門も自動化を進め、消防団員の負担を軽減できないか。

問 豪雨災害時の水路放水門は、遠隔操作が可能な水門へと改修が行われている。天降川流域で排水ポンプが設置されている7か所の水門も自動化を進め、消防団員の負担を軽減できないか。

問 管路の耐震化に必要な財源に対応する必要がある。水道事業の持続性を確保するために改定作業を行っている。料金のあるり方については、今後、外部委員会で検討する。

答 管路の耐震化に必要な財源に対応する必要がある。水道事業の持続性を確保するために改定作業を行っている。料金のあるり方については、今後、外部委員会で検討する。



防犯カメラの設置状況は

松下 太葵議員

問 市内における防犯カメラの設置状況はどうか。

答 不特定多数の人が通行、出入りする場所などに設置し、適正な運用を図ることは、安心安全なまちづくりを推進する上で有効な方法であると考えている。今後も防犯カメラの適正な運用に努め、安心安全なまちづくりを推進していく。

問 市道広瀬20号線の整備状況は

答 広瀬地区国分児童体育館の市道側溝の残りの整備状況はどうか。

問 整備計画の残りの17メートルは、引き続き計画的に整備を進め、安全対策に努める。



老朽化の進む側溝



中山間地域に住む高齢者の 買い物支援を

前川原 正人議員

問 一人暮らし世帯、特に高齢者の食料品・生活雑貨品の調達に対する支援が必要と考える。神奈川県愛川町では、行政と地元業者が協定書を結び、見守り活動を含めて全地域を巡回しており、「買い物難民解消」と経済対策にも貢献している。本市でも取組はできないのか。

答 「公募によらない再雇の任用に関する規定」を設けて、勤務実績など能力の実証を含めた人事評価を行っており、引き続き優秀な人材確保に努力する。



住宅に困窮する市民の住居 確保に寄与する施策を

前島 広紀議員

問 住宅に困窮している市民が早急に安価で入居できる体制を整えるべきであると考え。市営住宅は、老朽化が進み空き家が多い。現在行っている改修工事および今後の計画はどうか。

答 令和4年3月に策定した「霧島市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、外壁モルタルの剥落防止を目的とした外壁改修工事のほか、浴室のユニットバス化、台所や洗面所への給湯設備の増設などの居住性の向上を目的とした個別改修工事などを計画的に実施している。

問 用途廃止計画の団地の現状はどうか。

答 用途廃止と位置付けた団地は、令和6年11月1日現在、国分地区の宮下団地、四方田団地など31団地502戸である。

問 今後、国や県の動向を注視し、他自治体の事例を参考にしながら、民間事業者の取組の実態などを含め、調査・研究していく。

答 今後の動向を注視し、他自治体の事例を参考にしながら、民間事業者の取組の実態などを含め、調査・研究していく。

会計年度任用職員の 処遇改善を

問 国は令和6年6月に会計年度任用職員制度の

会計年度任用職員制度の

国は令和6年6月に会計年度任用職員制度の



市民の視点で財政運営を

今吉 直樹議員

問 霧島市経営健全化計画(第4次)における財政のあるべき姿では、「計画額より基金繰入額の抑制や積み増しを行うことにより、計画額より多くの基金を涵養する必要がある」との記載がある。緊縮的な財政運営による各種政策へ与える影響をどう捉えているか。

答 令和8年度以降は、国庫補助金や普通交付税措置のある有利な起債を活用し社会基盤の整備に努めていく。

問 この方針は、年間を通じて必要と見込まれる予算を措置した上で、歳入面では、有利な財源の確保や、自主財源の根幹である市税の収納率の向上、新たな財源の確保に努める。歳出面では、限られた予算を効率的・効果的に執行することで、基金の涵養につなげることを目指すものである。

答 この方針は、年間を通じて必要と見込まれる予算を措置した上で、歳入面では、有利な財源の確保や、自主財源の根幹である市税の収納率の向上、新たな財源の確保に努める。歳出面では、限られた予算を効率的・効果的に執行することで、基金の涵養につなげることを目指すものである。

※起債とは
自治体が大きな事業の資金を集めるために借金(地方債)をすること。

※基金の涵養とは
単に基金を集めるだけでなく、長期的にその価値を高め、安定的に活用できる仕組みを育むこと。

